

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼№	8	事例№	6	依頼者	安城市立新田小学校	実施場所	新田小学校視聴覚室
実施対象	小学 4 年生（2 クラス 56 名）						
実施日時	令和 5 年 11 月 29 日（水）13 時 40 分～15 時 15 分						
テーマ	環境に対する理解を深める						

●依頼内容

身近な生き物を中心に、自然環境との関わりや自分達の生活との関わり、生態系などを学ぶ環境学習の講師を紹介してほしい。

●講師：長谷川 明子 氏（ビオトープ・ネットワーク中部 会長）

長谷川氏 (Ph. D.) は、1 級ビオトープ計画管理士の資格を有し、大学や専門学校での講師経験がある。また、自然環境の保全と私たちの暮らしの豊かさとの両立を可能にすべく、執筆や講演会等、自然環境の魅力を楽しく伝える活動に取り組んでいる。2010 年に開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）においては、愛知県と名古屋市の生物多様性アドバイザーを務めた。現在、あいちミティゲーション専門家派遣事業（愛知県）の専門家、（公財）日本生態系協会評議員、尾張西部生態系ネットワーク協議会会長等として幅広く活躍されている。

●授業の内容

座学	講師の自己紹介の後、パワーポイントを使って授業が行われた。最初に講師から、地球上では気候変動をはじめ様々な問題が起きており、生物の絶滅は中でも特に深刻な問題となっているということ、地球上で多くの生物の生息地でありながら、環境破壊が進んでいる場所は「生物多様性ホットスポット」と呼ばれ、日本も「ホットスポット」のひとつであるということ、中でも中部地域は特に生物多様性の豊かな地域で、両生類を始め地域の固有種が多く、その保全が急がれているということについて説明がされた。保全の一方で、世界では新しく自然を創造する取組も行われており、中部地域でもみんなで生物を守り自然を創造する取組が求められるということについて併せて説明があった。続いて、世界で取り組むことが求められている SDGs の 17 の目標を覚えるために、「SDGs の歌」を童謡「きらきら星」のメロディに合わせてみんなで歌った。最後に講師から、「身近な環境や生物を守るのは、私たちみんなの役割であり、『生物多様性ホットスポット』を『ホッとするスポット』にしていこう」と呼びかけがされた。	50 分
	休憩	10 分
ワークショップ	4 人程度のグループをつくり、今日の講義とこれまでの総合学習の授業で行った身近な生物の調査をふまえて、「新田小学校のみんなと生き物がハッピーな学校」について考え、模造紙に絵を描いた。その後、2つのグループがペアとなり、互いに考えたことについて発表しあった。まとめとして講師から、「よりよい未来をつくるために、“考えること”、“夢を描くこと”、“みんなと話すこと”、“学ぶこと”を大切にしてください」と呼びかけがされた。	35 分

●授業の様子

授業は 2 クラス合同で 5 時限目と 6 時限目にわたって行われた。座学では、子どもたちは講師からの問いかけやクイズに積極的に答えていた。初めて歌う「SDGs の歌」も「きらきら星」のメロディに合わせて大きな声で元気よく歌っていた。ワークショップでは、グループのメンバーで話し合いをしながら、大きな紙面に色鉛筆を使って森や池、花などの絵を描いたり、色をぬったりしていた。

生物多様性問題と私たちとの関わりについて学んだ。



「みんなと生き物がハッピーな学校」についてグループごとに考え、模造紙に絵を描いた。

